

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	滝澤 和美
	全体計画			経費区分	-	内線	3380
事務事業名	7725 地域医療福祉ネットワーク推進事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	11010200 地域医療を支える体制づくり						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費					
	事業	040000 地域医療福祉ネットワーク推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを目指し、地域医療福祉のネットワーク構築を推進する。				須高地域医療福祉推進協議会に専門委員会を設置。感染症及び大規模災害時の医療体制整備、医師・看護師不足、在宅医療福祉介護等の課題について取り組む。感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供により感染症の拡大防止に繋げる。情報共有システムの導入により在宅医療24時間サポート体制を提供。※28年度から2会計。本システムでは30年度から一般会計地域医療福祉ネットワーク推進事業と介護特会在宅医療・介護連携推進事業を合算し事業費等を計上。※2019年度から係長級職員人件費を三市町村で負担。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ●安心して産み育てられる地域づくりの取組 ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組 ○リビング・ウィル、人生会議の普及啓発 ○かかりつけ医等についての啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して産み育てられる地域づくりの取組 ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組 ○リビング・ウィル、人生会議の普及啓発 ○かかりつけ医等についての啓発
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	24時間在宅療養生活のための在宅医療安心ネットを活用した「須高須高在宅ネットワーク」の参加期間						
算式	「須高須高在宅ネットワーク」の参加期間					単位	%
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	67.8	67.8	67.8	67.8		80
	実績						
指標選定の理由	かかりつけ医等を持つことで、普段から医師等に気軽に相談でき、人生の最終段階における医療・ケアについても家族や信頼のおける関係者等と繰り返し話し合うこと（人生会議）に繋がるため						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		1,649	2,992
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	432	784
一般財源		1,217	2,208
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.9	0.9
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,271.2	6,271.2
	嘱託職員	2,834.1	2,834.1
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,105.3	9,105.3
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,754.3	12,097.3

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	80	講演会・講座等講師謝礼
10節 需用費	148	消耗品、自動車燃料費、冊子印刷製本費等
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,421	嘱託職員報酬等、旅費、役務費、使用料及び賃借料

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	370	講演会・講座等講師謝礼 等
10節 需用費	358	講演会用・事務用消耗品、10年まとめ冊子印刷製本費、自動車燃料費等
12節 委託費	607	須高地域医療情報ネットワークシステムプログラム修正委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,657	会計年度任用職員報酬等、旅費、役務費、使用料及び賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	医療と介護の連携は、介護保健法の地域支援事業に位置付けられており、2020年度から国が示す8項目にとらわれず、地域の実情に応じた取組ができるよう手引きが改訂されている。地域包括支援センターが行う独自の取組の他に、須高地域の広域的な取組を併せた地域包括ケアシステムと保健・医療・福祉・介護のネットワーク構築のさらなる強化が求められている。感染症対策については、新型コロナウイルス感染症対応の実践をもとに、感染症予防研修会等の開催と地域で連携した対策を進めていく必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	在宅で看取りができる地域をめざし「リビング・ウィル」や「人生会議」の普及啓発を行っている。かかりつけ医等を持つことで、普段から医師等に気軽に相談でき、人生の最終段階における医療・ケアについても家族や信頼のおける関係者等と繰り返し話し合うことに繋がるため、住民に継続して啓発する必要がある。感染症に強い地域をつくるため、感染症早期探知システムにより欠席者の情報収集を行い、園・学校への情報提供・注意喚起、広報等へ住民への啓発・注意喚起を継続して取り組む必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	3市町村の負担金により事業を行っている。須坂市負担分については介護保険の地域支援事業交付金を活用している。 2016年度からは、職員体制の見直しを行い3人から2人体制にしている。 2019年度からは、係長級職員の人件費についても三市町村で負担している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須高地域の医療福祉介護関係者が連携し、各種事業に取り組んでいる。2020年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面やオンラインによる会議・研修会を行い、関係者の安心安全に努めた。
 恒例の須高地域医療福祉を考える集いの開催はできなかったが、新型コロナウイルス感染症を中心としたオンラインでの感染症予防研修会や協議会委員向けの研修会を開催し、施設・事業所等における感染対策に役立ててもらうことができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

新型コロナ感染拡大防止のため、オンラインによる会議・研修会を実施。医療福祉介護の関係者が連携し、事業に取り組んでいる。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

須高地域の共通課題(感染対策・医療福祉の連携など)を解決推進するために重要な役割を果たしている

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--